

6月5日（日）「横浜市金沢区野島」において、モニタリングPT主催による「アサリわくわく調査」を実施しました。

調査当日は朝から雨が降るあいにくの天気で、参加者総勢8名での実施となりました。そのため、調査地点数を9地点に縛っての調査となりました。

午前 11 時頃の最干潮にあわせ岸側から調査を始めました。潮が引いた調査地点で、25cm 四方の砂を採取し、砂の中のアサリや生き物を確認しました。

※25cm 四方の範囲で取った砂を網目 2mm 程度のネット袋に入れ、海水で砂を洗い出してネット袋内に残ったアサリの殻長を測るものです。

調査当日に採取したアサリの個体数は、9 地点で 353 個（採取調査は午前中）、最も殻長が長いアサリは、36mmでした。神奈川県では、20mm以下のアサリは採ってはいけないことになっていますので、20mm以下のアサリは海に戻しました。

現地では、調査の合間にマテガイの採取も行われ、雨にも負けず楽しい一時でした。



集合と自己紹介



風呂田東邦大学名誉教授からアサリ調査方法の説明を受ける参加者たち



参加者による生物の採取



雨の中、潮干狩りの家族連れ



マテガイの採取－１



マテガイの採取－２



参加者によるアサリの採取



採取した生物の同定とアサリの殻長計測



アサリの模様コンテスト出展員

参加者各自が採ったアサリの中から、珍しい模様やきれいな模様の貝を 1 個ずつ選び、みんなの総意で、1 番綺麗な模様のアサリを採った人に賞品として「干潟生物観察図鑑」が送られました。